

# JIU JITSU TODAY

VOL.  
10

2024 WINTER

【ジウジツトゥデイ】



# SJJIF WORLD

特集



海外レポート

## MARIANAS OPEN

インタビュー

グラント・ボグダノフ  
フェルナンダ・クリスト  
マルロン・ゴディ

スポーツクジ



# すべての スポーツに エールを

スポーツくじの収益は、  
日本のスポーツを育てるために  
使われています。



くじを買うはエールになる

スポーツくじ



JIU JITSU TODAY 10 発刊

# Greeting



去る9月26日から4日間にわたり開催されたSJJIF WORLDはのべ人数4,500人もの選手の皆様に参加いただき、大きな混乱もなく、無事盛況のうちに終えることができました。また内外からの評価も高く、ひとえに参加者のみなさまのおかげと感じております。当連盟といたしましてはこれに慢心せず、来年以降も再び世界大会が開催できるよう邁進してまいります。

さて、2024年も残りわずかとなりましたが、これからもASJJF主催の大会は続きます。来年の2月にはASIA CUP、3月にはASIA KIDS、ASIA MASTERとビックイベントが続きますが、皆様が安心して参加できるような大会運営を心がけていきます。

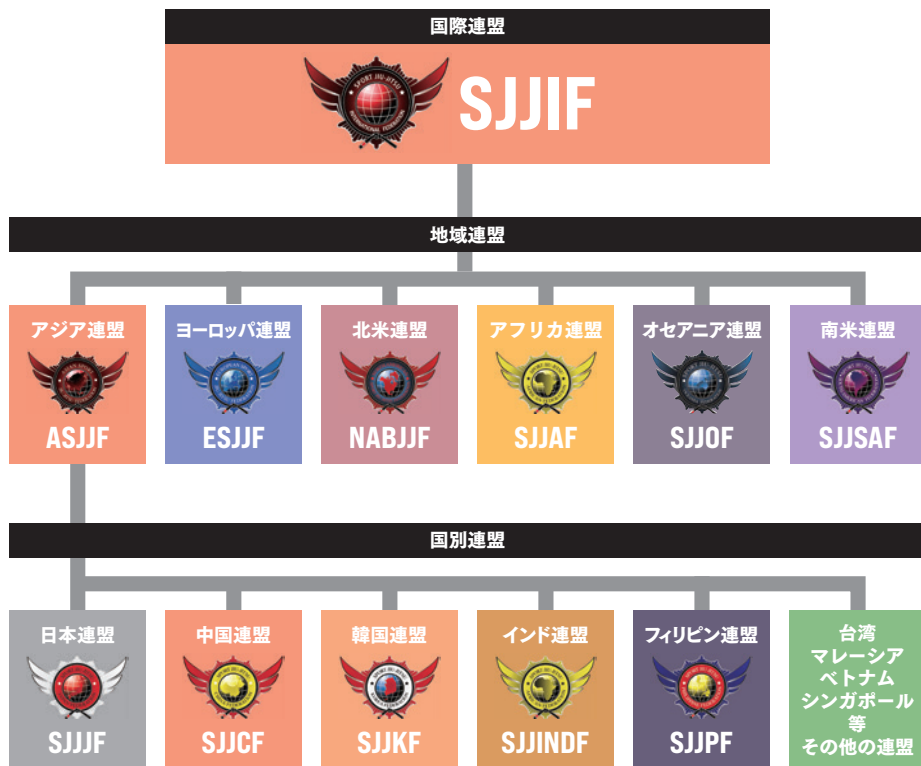


アジアスポーツ柔術連盟会長  
籠原エチソン

# SJJIF ORGANIZATION CHART

SJJIFは“柔術をオリンピック競技に！”をスローガンに掲げて、世界各地で柔術の競技大会の開催や普及活動に取り組んでいます。

## SJJIF(スポーツ柔術国際連盟)の組織図



**ス** ポーツ柔術国際連盟は2013年にアメリカを拠点として設立され、柔術の普及とオリンピック種目への採用を目指しています。

これらを実現するため、SJJIFは各大陸に連盟を設けており、ASJJFは、アジア各国における啓蒙活動と柔術大会の運営、プロモーションを担っている

団体です。

SJJJFは国別連盟にあたり、ASJJFの統括の下に日本での大会運営などを中心に活動を広げています。

ASJJF & SJJJF 大会レポート

# Report

のべ4,500人の参加者が集まり、大盛況のうちに終了したSJJIF WORLD。  
そしてグアムで年に1度開催される祭典MARIANAS OPENの  
2大会を今号ではあますところなくレポートしました。



【特集】

## SJJIF WORLD MARIANAS OPEN

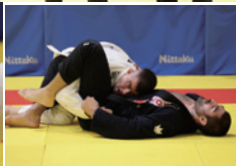
# SJJIF WORLD

DATE:2024年9月26日(木)~29日(日)

愛知県武道館

4日間に渡り開催された SJJIF 主催の世界選手権は日本で初めて開催された世界大会。4日間で4500 人ももの参加者を集めてアジアエリアにおける最大規模の大会として大々的に行われた。

## 日本で初開催の世界選手権は 歴史に残る激闘の数々で世界王者が多数誕生



アダルト黒帯オープンクラス決勝戦はブラジル・サンパウロから来日のマルロン・ゴドイ(ボンサイ柔術)とアメリカ・サンディエゴから来日のシャビエル・シウバ(EVOX BJJ)の海外勢同士の対戦。試合は体格で上回るマルロンが圧勝、ウルトラヘビーと合わせて2冠に輝く。



アダルト黒帯ルースター決勝戦は両者とも岐阜に活動拠点を置く選手であるチアゴ・ウエノ(ALMA FIGHT GYM HOMIES GIFU)と戸所誠哲(パラエストラ岐阜)の対戦となった。結果は6:08絞めを極めたチアゴが一本勝ちで優勝を果たす。



九州を代表する黒帯である井手史竜(CARPE DIEM KURUME)とテクニシャンの日系ブラジリアン、エリック・メネギン(IGLOO)の間で争われたアダルト黒帯ライトフェザー決勝戦は井手がインスタップの猛攻を見せ2-0で勝利した。



アダルト黒帯フェザー決勝戦で実現した鈴木和宏(トライフォース)と丹羽怜音(Axis)の若手黒帯トップ対決はAOJで1週間の修行を経て帰国した鈴木が得意技のレスルアップを決め、その2ポイントを堅守してそのまま2-0で勝利して優勝。



約3年ぶりの再戦となったアダルト黒帯ライト決勝戦の平田孝士朗(CARPE DIEM JIYUGAOKA)と森戸新士(Leos Jiu Jitsu Academy)の試合は本戦で決着つかずでサドンディスに突入、そこでテイクダウンに成功した平田が勝利、vs森戸戦で2連勝。



極めの強さに定評があるgrant・ボグダノフ(ALMA FIGHT GYM LIFE)が電光石火のトーホールドを極めて卯都木豪(CAVE BJJ)から秒殺一本勝ちし、アダルト黒帯ミドルで優勝、SJJIFワールド制覇で世界王者となった。



海外のカルベディエム支部から来日のイ・エクス(CARPE DIEM)が日系ブラジリアンの雄であるマテウス・ヒロトミ(Impacto BJJ)をボジショニングで圧倒し8-0で快勝、アダルト黒帯ミディアムヘビーで優勝している。



モンゴルvs韓国の国際マッチとなったアダルト黒帯ヘビー決勝戦は柔術のモンゴルナショナルチーム所属のバヤルサイハン・バトベイ(ASM BJJ)がジョン・ヒョンセク(OVERLIMIT BJJ KOREA)から16-0の大差の判定勝ち。



ともに1回戦で中国人選手に勝って決勝に勝ち上がった高本奈月(TATORU)と菅里実(CARPE DIEM MITA)の女子アダルト黒帯フェザー決勝戦・日本人対決は5:53腕十字で高本に凱歌が上がる。

### 高本奈月が国内トップ対決を制して優勝 茶帯の中山有加&ヘナータ・ハルミも揃って金メダル獲得



女子アダルト黒帯ライトフェザー決勝戦の山田海南江(IGLOO)vs村上彩(CARPE DIEM MITA)は練習仲間ということもあり勝手知ったる間柄。結果は1:51絞めを極めた山田が一本勝ちで優勝を果たしている。



女子アダルト黒帯ミディアムヘビーとオープングラスの決勝戦はフェルナンダ・クリスト(EVOX BJJ)とレベッカ・アンナン(アリアンシ・セントジョーンズ)の同じ顔合わせに。結果はミディアムヘビーは5-0、オープングラスはエゼキエルでフェルナンダ2連勝。



ヘナータ・ハルミ(INFIGHT JAPAN)が優勝した女子アダルト茶帯フェザー決勝戦は、レフェリーの判定に不服だった王嵐一(TOP BROTHER CHINA)が執拗に抗議を続け、最終的にはDQでヘナータの反則勝ちになり、後味が悪い結果になってしまった。



柔道から柔術に転向して以来、国内ではカロリーナ・クワハラ以外には負けたことがない中山有加(Yawara)が今大会でも活躍。女子アダルト茶帯のライト決勝戦でチェルシー・レットマイヤーに、オープングラス決勝戦はヘナータ・ハルミにそれぞれ一本勝ちでWゴールド。





DEEP JEWELSのチャンピオンで現在は海外のINVICTAに参戦中のトップMMAファイターでもある大島沙緒里(CARPE DIEM MACHIDA)が女子マスター1茶帯ライトフェザーで全試合一本勝ちで余裕の優勝。次はアダルトでの試合も見てみたい。



女子マスター1紫帯のヘビーとオープンクラスで優勝しWゴールド獲得の松野保奈朱(EVOX BJJ)は、今大会は「まずは自身の年齢カテゴリーで制覇したい!」とこのことでマスター1で出場したが、今後は機会があればアダルトでも出る意向とのことだ。



女子アダルト青帯のトップ選手である柳朝海(MASTER JAPAN)がミドル級で優勝、オープンクラスでも準優勝。ミドルではジュリアン・クマモト(Impacto BJJ)に勝利、オープンクラスでは上田真央(吹田柔術)に敗れた。



女子アダルト紫帯ライトフェザー決勝戦、柴田紗希(パラエストラ天満)vs高本千代(高本道場)の試合は大阪の柴田と東京の高本の東西トップ対決。試合は柴田が勝利してトーナメントを制覇している。



国内外で試合をしている川村竜志(ポヘミアンズ)が女子マスター2茶帯ライトフェザーのワンマッチ決勝戦で勝利して優勝。オープンクラスは一人エントリーで金メダルとなり、1試合のみでWゴールドとなった。



女子アダルト紫帯でギ&ノーギでそれぞれWゴールド=クアドラブル・ゴールドを達成した吉永愛(パラエストラ岐阜)。この偉業は女子アダルト黒帯のフェルナンダ・クリストとこの吉永の2人のみしか成し遂げていない。



女子マスター1紫帯のギ&ノーギでそれぞれ優勝の青野ひかる(ストライプ自由が丘)がWゴールド。トップポジションからの攻めは安定して、ガードからのアタックにもチャレンジして欲しい。



かつてはMMAで活躍し、現在は柔術に専念している上田真央(吹田柔術)が女子アダルト青帯のメディアムヘビーとオープンクラスで優勝してWゴールド。すでにマスターの年齢だがアダルトで結果を残すのは凄いことだ。



北西顛子(CARPE DIEM JIYUGAOKA)と向井奈津子(Holoimua)の女子マスター3茶帯フェザー決勝戦は三角絞めから腕十字を極めた北西が優勝。北西は1回戦も極めて勝っており、2試合連続の一本勝ちだった。



女子マスター2茶帯ルースターのワンマッチ決勝戦、吉岡美佳(徳島柔術)と黒川彩乃(OVERLIMIT BJJ)の対戦は引き込んだ黒川に対しトップから攻め続けた吉岡が勝利して金メダル獲得。



女子マスター2紫帯でWゴールド獲得の根津幸恵(トラスト柔術アカデミー)。階級別はワンマッチ決勝戦だったが、オープンクラスではトーナメント決勝戦で岡部可奈(柳澤柔術)に勝利しての優勝は特筆モノだ。



かつて“平成の格闘王”と呼ばれた元プロレスラー・格闘家の高田延彦(高田道場)が突如、今大会で柔術デビュー。高田はマスター7紫帯ヘビーのワンマッチ決勝戦でアメリカから来日したスティーブン・スミス(CX BJJ)と対戦。相手が狙ってきた腕返しをスカすと、そのままサイドポジションを奪う。そこからじっくりと時間をかけてギムラを狙っていき、相手が半身になったタイミングで一気に捻ってタップを奪った。62歳にして柔術デビューを果たした高田、しかも一本勝ちで優勝というこの上ない結果に満足げな表情だった。



**令和に蘇った“平成の格闘王”高田延彦が  
柔術デビュー戦で一本勝ち!!**



アダルト茶帯でヘビーとオープンクラスで優勝してWゴールド獲得のカウン・タニノ(福住柔術)。ヘビー決勝戦は乗次秀彦(バッファロー柔術)に、オープンクラス決勝戦は井田黎(Impacto BJJ)にそれぞれ勝利している。



アダルト茶帯ライトフェザーで優勝した井田黎(Impacto BJJ)は決勝戦で実力者の石井晴(トライフォース)からスリープして勝利。事前にしっかりと“石井対策”をしてきたという井田の作戦勝ちというところか。



フェザーからライトに階級アップして挑んだ今大会でも危なげなく優勝した斉藤晶(INFIGHT JAPAN)。アダルト茶帯ライト決勝戦では中田嵐(さくら柔術)からバックを奪うなどして6-2で勝利。



アダルト茶帯フェザー決勝戦、石原健流(ストライプル取手)と田中翔馬(パラエストラ岐阜)の試合は2-2の同ポイントだったが田中にペナルティが入っていたため、石原の勝利となった。



森動哉(トラスト柔術アカデミー鹿児島)とカン・ドンハ(デラヒーバコア)の日韓戦となったアダルト茶帯ミドルの決勝戦はパスガードを決めたカンが6-0で勝利して優勝を飾った。



ノーギでは優勝した渡部修斗(ストライプル新百合ヶ丘)だがギリでは優勝できずで3位に甘んじた。当面の目標は黒帯取得という渡部はノーギの実績は十分すぎるほどあるだけにギでの実績が欲しいところだ。



アダルト紫帯でスーパーヘビー&オープンクラスで優勝してWゴールドを獲得したマテウス・ソウザ(RYU BJJ)。スーパーヘビー決勝戦はモヒ・タウハラ(グローバル柔術アカデミー)から送り標紋めを極めての一本勝ち。



アダルト紫帯ライトフェザーで優勝の大野智輝(CARPE DIEM HI ROO)は3試合を勝ち抜いての金メダル獲得。「失点しないで一本を狙った試合では、ちゃんと極められたので内容的には満足している」とのこと。



MMAでも活躍中の根井博登(THE BLACK BELT JAPAN)から勝利してアダルト紫帯ルースターで優勝した山田知摩(ボヘミアンズ)はガードワークの巧みさが光る軽量級のテクニシャンだ。



ピクシー・クリフォード(Impacto BJJ)と荒井竜哉(パラエストラ和泉)の日米対決となったアダルト紫帯フェザー決勝戦はマウントを奪うなどしてポイントを獲得した荒井が勝利して優勝を決めている。



パワフルな柔術が持ち味のホドリゴ・モリナ(バトレチーム)がアダルト紫帯ミドルの決勝戦で鯉住史也(モンスターハウス)をRNGを極めて一本勝ちで優勝し金メダルを獲得している。



中国のユ・ジュンジェ（ギャラクシー JJ）と台湾のチャンチェン・ユアン（台湾BJJ）のアダルト紫帯メディアムヘビー決勝戦はサドンデスでタックルを決めたユが制し、激戦に終止符を打った。



アダルト紫帯ウルトラヘビーはワンマッチ決勝戦。モンゴルのアルガルサイハン・バアサンズレン（グローリー JJ&MMA）と関貴之（AXIS 一言）の一戦はスタンドの攻防で膠着のペナルティが両者に入る中、関が辛勝で優勝した。



女子ジュブナイル青帯オープンクラス決勝戦はニコリー・セキタニ（セキタニ柔術アカデミー）と渡辺花美（ボンサイ柔術）のライバル対決で、腕十字を極めたニコリーが一本勝ちでオープンクラス制覇。



ギとノーギで熾烈な争いを繰り広げていたニコリー・セキタニ（セキタニ柔術アカデミー）とイザベラ・シウバ（シウバBJJ）。女子ジュブナイル青帯で、ギとノーギでそれぞれ2回ずつ対戦し、どちらも1勝1敗のイーブンの戦績。決勝戦はいつか！?



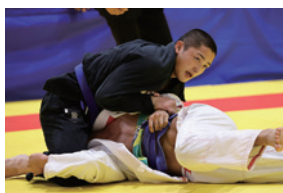
昨年11月に肩を負傷し、手術&リハビリを経て9月のSJJJF日本で試合復帰してすぐに優勝、その翌週の今大会でも優勝し、全日本王者&世界王者のWタイトルを獲得しているハファエラ・アユミ（INFIGHT JAPAN）。まだ中学生で来年から高校に進学する。



まだ高校生の中島琉輝（AXIS）だがキッズ時代から柔術をやっている若きベテラン。今大会ではジュブナイル青帯ミドルの決勝戦で宇野永人（SPLASH）から腕十字を極めて一本勝ちで優勝。



クリスチャン・マツオ（カーロストヨタBJJ）はジュブナイル青帯フェザーの準決勝戦で宿敵の井田徠（Impacto BJJ）にサドンデスでテイクダウンを決めて勝利し、その勢いそのまま決勝戦も勝ちきり優勝をもぎ取った。



古賀龍之介（CARPE DIEM KURUME）とマイケ・オオシロ（カーロストヨタBJJ）の間で争われたジュブナイル青帯ライトの決勝戦はマイケからバsgガードしサイドポジションで抑え込んだ古賀が優勝。



いま女子のジュブナイル青帯でメキメキと頭角を現しているのが渡辺花美（ボンサイ柔術）だ。今大会では台湾から参戦のリン・シンアイ（新竹BJJ）を腕十字で降して女子ジュブナイル青帯ライトフェザーで優勝している。



マスター4茶帯ライトフェザーで優勝したグエン・クワン（OVERLIMIT BJJ SAIGON）は得意のハーフガードを駆使して3試合に勝利し、ベトナム人初の世界王者に輝く。大会後に師匠のエジソン・カゴハラから黒帯を授与された。



SJJIFのインドの連盟であるSJJINDFの代表を務めるゴルウン・シン（スポーツ柔術インディアフェデレーション）がギとノーギで木下徹（吹田柔術）と大激戦を繰り広げたが、結果は木下の2連勝に終わる。



SJJIFとその傘下にあるASJJFとSJJJFはパラ柔術の普及にも取り組んでおり、全日本やアジアなどの大規模大会では毎回試合を行っている。

## パラ柔術は身体的なハンディキャップで、デフ柔術は視覚&聴覚のハンディキャップ、そしてスペシャル柔術は精神的なハンディキャップを持った選手たちの試合となる



佐々木椋汰(CARPE DIEM)vs清野義人(NRCDねわわ倶楽部)の試合はスイープした清野が2-0で勝利している。



河野聖也(CARPE DIEM KURUME)vs水田雅之(ねわごワールド)は河野が腕十字を極めての一本決着。



パラ柔術の戦績も多い阿部武蔵(Yawara)と清野義人(NRCDねわわ倶楽部)の試合は5-0で阿部が盤石の勝利を果たす。



パラ&デフの混合マッチの河野聖也(CARPE DIEM KURUME)と河野蒼志(NRCDねわわ倶楽部)の試合は5-0で河野が勝利。



阿部武蔵(Yawara)vs佐々木椋汰(CARPE DIEM)は帯色を超えたマッチアップで2-0で阿部がポイント勝ち。



原田寿(RJJ)と河野聖也(CARPE DIEM KURUME)の試合はサドンデスでパスに成功した原田が接戦を制した。

### パラ柔術マッチ 全戦績

#### ■第1試合

×水田雅之(ねわごワールド)  
(0-2)  
○河野聖也(CARPE DIEM KURUME)

#### ■第2試合

○東央(タイショー柔術アカデミー)  
(腕十字)  
×原田寿(RJJ)

#### ■第3試合

×佐々木椋汰(CARPE DIEM)  
(0-2)  
○清野義人(NRCDねわわ倶楽部)

#### ■第4試合

○河野聖也(CARPE DIEM KURUME)  
(腕十字)  
×水田雅之(ねわごワールド)

#### ■第5試合

○阿部武蔵(Yawara)  
(5-0)  
×清野義人(NRCDねわわ倶楽部)

#### ■第6試合

○河野聖也(CARPE DIEM KURUME)  
(5-0)  
×河野蒼志(NRCDねわわ倶楽部)

#### ■第7試合

○阿部武蔵(Yawara)  
(2-0)  
×佐々木椋汰(CARPE DIEM)

#### ■第8試合

○原田寿(RJJ)  
(サドンデス・パスガード)  
×河野聖也(CARPE DIEM KURUME)



かつてはQUINTETでチームメイトだった森戸新士(Leos Jiu jitsu Academy)とグラント・ボグダノフ(ALMA FIGHT GYM LIFE)がアダルト黒帯オープンクラス決勝戦で雌雄を決する初対決。結果はグラント勝利でミドル&オープンクラスの2階級制覇。



アダルト黒帯ルースター決勝戦はワンマッチで江崎壽(ALMA FIGHT GYM BASE)が柴田宏太(Impacto BJJ)から勝利して優勝。江崎は北海道の札幌在住だがはるばる遠征して世界タイトルを奪取した。

## 世界的に流行の兆しのノーギも今大会では 国内外で強豪が集結し覇を競った



近藤卓也(タイショー柔術アカデミー)はアダルト黒帯ライトフェザーのワンマッチ決勝戦でハッキネン・シウバ(JAWS柔術アカデミー)と対戦も、ハッキネンが試合中に負傷棄権で不完全燃焼の金メダル獲得となった。



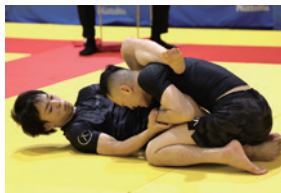
セゴ・アフォンソ(Showfight Dream team)はルタリプレの黒帯で柔術とは違った技術体系を持った強豪だがマスターの年齢でアダルト黒帯ライトのワンマッチ決勝戦で森戸新士(Leos Jiu jitsu Academy)に挑んだがヒザ十字で一本負けに終わる。



沖縄で活動するイバン・サカモト(イバンサカモトBJJ)はマスター3黒帯ウルトラヘビーのワンマッチ決勝戦でモーリシャスから参戦のカイラッシュ・パタン(モーリシャスBJJ)から勝利して金メダル獲得。



貴重な重量級の日本人黒帯の赤井勇二(パラエストラ小岩)がアダルト黒帯ミディアムヘビー決勝戦でマテウス・ヒロトミ(Impacto BJJ)を撃破。赤井は関西から東京に移住してパラエストラ小岩に移籍した選手だ。



松井正行(Impacto BJJ)と王強(China New Base)の日本vs中国のマスター1黒帯ライトフェザー決勝戦は松井が勝利。今大会には中国からも選手が大挙参戦してきており、中国での柔術の広がりが感じられた。



マスター2黒帯ライトフェザーのワンマッチ決勝戦は高橋健太(スマイル柔術)が宮尾翼(ねわざワールド)をクローズガードからアームロックを極めて一本勝ちで優勝を決めた。



中国在住のアメリカ人のニコラス・ボーヒル(ブシドーチャイナ)が日系ブラジリアンのラファエル・ノバ(ユナイテッドファイターズアカデミー)を破ってマスター2黒帯ライトで金メダル獲得。



マスター4黒帯フェザー決勝戦、生田誠(トラスト柔術アカデミー)と稲野岳(CUTE)の試合は幾多のガードワークが冴え渡り、15-0という大差の判定勝ちで優勝、ノーギ世界王者に輝いた。



マスター3黒帯でWゴールドのヨースキ・スター (Impacto BJJ)はASJJF審判部のヘッドレフリーをこなしつつの試合出場。ノーギはミディアムヘビー&オープンクラスで優勝したがギの試合は肘の怪我が悪化して欠場した。



ASJJFでランキング1位の強豪、テアゴ・トサワ(Impacto BJJ)と韓国人のキム・フンジュン(OVERLIMIT BJJ KOREA)のマスター2黒帯ミディアムヘビーのワンマッチ決勝戦はテアゴがマウントを奪うなどで余裕の優勝。オープンクラスでも優勝し2冠を達成。



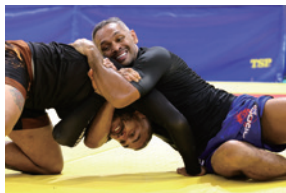
ベトナム在住の日本人、小谷尚孝(OVERLIMIT BJJ SAIGON)がハッキネン・シウバの父親であるジウソン・シウバ(カーロストヨタBJJ)とマスター5黒帯ライトのワンマッチ決勝で戦い、手堅い判定勝ちで世界王者に。



アメリカから参戦してきたランス・キャンベルがマスター5黒帯ミディアムヘビーのワンマッチ決勝戦で鶴田一志(チームレグナム)から勝利して優勝。アメリカからも選手が参戦してきているのはさすが世界大会だ。



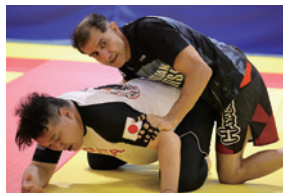
カーロストヨタBJJの総大将、カーロス・トヨタ御大が自ら先頭に立って試合出場し会場内は大盛り上がり。マスター5黒帯のウルトラヘビー&オープンクラスで優勝しWゴールドを獲得もヒザを負傷しギの試合は欠場している。



ブラジルのマナウスから来日したベッチーニョ・ウィタウ(OVERLIMIT BJJ SAPPORO)は名門・カリオカチームの黒帯で大ベテラン。今大会でマスター3黒帯ミドルをノーギで優勝している。



鮮やかなFNCを極め、森下悠助(パラエストラ東京)から一本勝ちした下原浩之(NASCER DO SOL)がマスター3黒帯ライトフェザーで優勝。バックを奪ってから絞めを極めるまでの流れがスムーズだった。



呼び出し不備のトラブルで危うく試合ができなくなりそうだったアダム・メトカルフ(Amm GYM BJJ)だったが無事に試合が行われ、マスター6黒帯オープンクラスのワンマッチ決勝戦で新川武志(吹田柔術)に勝利して優勝。



マスター2黒帯オープンクラスで実現したランジェル・ロドリゲス(RRT)とジェイク・マッケンジー(GFチーム)のトップ対決。試合はランジェルが肩固めを極めて一本勝ち。国内最強のマスター2黒帯としての実力を存分に発揮した。



白木大輔(CARPE DIEM HOPE)とベッチーニョ・ヴィタウ(OVER LIMIT BJJ SAPPORO)のマスター3黒帯オープンクラス決勝戦はベッチーニョが足を撃ってしまつて白木の勝利に終わる。はるばるブラジルのマナウスから来日したベッチーニョ、これは不運だ。

## マスターカテゴリーは日本人選手が好勝負を展開 海外勢から勝利して世界戴冠を果たす



マスター4黒帯ライトフェザーの決勝戦では西林浩平(PATO STUDIO)と木部亮(SPLASH)の日本人同士によるテクニシャン対決が実現。試合は引き込んだ西林がバタフライガードからのスリーブを決めて勝利している。



マスター5黒帯フェザー決勝戦は試合中にヒザを負傷して試合続行不能で無念の棄権となった日比野勝彦(ALIVE)を涙ながらに慰める中山巧(パラエストラ大阪)の姿が印象的だった。怪我は仕方ないが、がっかりとした日比野の姿に無念さが滲み出る。



相変わらずの強さを見せていた高本裕和(高本道場)はマスター4黒帯でWゴールド。階級別はミドルで優勝し、オープンクラスではヘビー優勝のモイゼス・レモス(BJJ CORE JAPAN)から勝利しての金メダル獲得だ。



マスター6黒帯のヘビーとオープンクラスの決勝戦で2連戦となった伊藤伸明(パラエストラ小岩)とデニス・ヨシダ(INFIGHT JAPAN)の対戦は、ヘビーはデニスが勝ち、オープンクラスは伊藤が勝利して1勝1敗のイーブンに終わる。決着戦はいつか!?





「ベザオン」ことエリクソン・タクウチ(BJJ CORE JAPAN)だがマスター1黒帯ヘビーを一人優勝もオープンクラスでは韓国人のリム・センウ(OVERLIMIT BJJ KOREA)に7-2で敗れWゴールドならず。



マスター6黒帯ライト決勝戦、大原道広(ボゴナ・クラブジム)とモラディ・メハディ(カーロス トヨタBJJ)の顔合わせは大原が盤石の勝利。50代半ばを超えた選手も安定した試合ぶりはさすがだ。



岡田健司(エスクード)と新川武志(吹田柔術)はギとノーギで激戦を繰り広げた。ギではマスター6黒帯ウルトラヘビーのワンマッチ決勝戦で、ノーギでもウルトラヘビー&オープンクラスで2戦し、岡田が3連勝を飾った。



延長に次ぐ延長でロングマッチとなったマスター1黒帯フェザー決勝戦の加古拓渡(GSB)とニコラス・ボンセ(ノヴァユニオン)の試合はサドンデスでスイープしたニコラスが勝ったが、レフェリングの難しさが浮き彫りになる僅差の試合内容だった。



往年の名選手同士による10年ぶりの再戦が実現したマスター3黒帯ライト決勝戦になった髙崎公次(Evermove)と荒牧誠(MASTER JAPAN)の一戦は、髙崎がカーフスライサーでヒザを極めて一本勝ちし友人対決を制した。



久しぶりのSJJIFルールでの試合出場の塚田市太郎(ダムファイトジャパン)だが、いつもながらのアグレッシブファイトで長原稔幸(パラエストラ和泉)を撃破、マスター3黒帯フェザーで優勝し世界王者爆誕。



マスター5黒帯ルースターのワンマッチ決勝戦は藤田善弘(藤田柔術)と森田真彦(ねわざワールド埼玉)の日本人対決で、藤田が得意とするガードゲームで森田を降して世界王者戴冠。



岡澤弘太(CARPE DIEM MACHIDA)と坂田康介(GSB)のマスター2黒帯ミドルの決勝戦は岡澤が勝利して優勝を果す。岡澤はASJJF主催のプロ柔術「ART」でも結果を残しており、実力者として知られている。



韓国から参戦してきたイ・ヨンジャ(OVERLIMIT BJJ KOREA)とアメリカから参戦のエマ・メトカルフ(AMMA GYM BJJ)の女子マスター3黒帯オープンクラス決勝戦はヨンジャが勝利して韓国に凱歌。



オープンクラスでは準優勝だったエマ・メトカルフ(AMMA GYM BJJ)だが階級別のミドル級ワンマッチ決勝戦は阿部陽子(CARPE DIEM MITA)からバックを奪うなどで大量ポイントを獲得して勝利している。



マスター1黒帯ライトフェザー優勝のレンシン・タン(ベースボールシープ)は中国人黒帯で、この優勝で中国人初の黒帯世界王者となった。決勝戦はフットロックで高橋健太(スマイル柔術)に一本勝ちしている。



いまやMMAで多数のチャンピオンを育成している松根良太の息子、星舟 (THE BLACK BELT JAPAN) が大会に出場。キングダートン白帯ライトフェザーで優勝し金メダル獲得を果たす。父親譲りのハーフガードが炸裂したかは定かではない。



プロ柔術「ART」でも対戦した幸田来弥 (Leos Jiu Jitsu Academy) と吉永さくら (パラエストラ岐阜) の女子ティーン 橙帯フェザー決勝戦はリベンジを狙う吉永から幸田がバックマウントを奪い、4-0で返り討ちにしての優勝。



黄帯に昇格してから試合の機会が激減していた山本紗世 (CARPE DIEM ASHIYA) が久しぶりの試合出場で灰帯時代からのよきライバルである根津柚花 (トラスト柔術アカデミー) と女子ユース黄帯ライトフェザー決勝戦で対戦し腕十字で快勝。



INFIGHT JAPAN代表のヘナート・シウバの末娘、マリナ・カオリは苦戦が続くが、世界タイトルが懸かった今大会では2試合を勝ち抜いてジュニアティーン黄帯ライトフェザーを制し、ヘナータ・ハルミ&ハファエラ・アユミの2人の姉と一緒に優勝した。



すでにアダルトでも結果を残すアナベラ・リンカ・ウォーカー (Leos Jiu Jitsu Academy) だが今大会ではキッズカテゴリーに出場。女子ジュニアティーン黄帯ミドルで優勝し、決勝戦は腕十字を極めて一本勝ちしている。

## 元気いっぱいのキッズ柔術家たち

### 男の子も女の子も

### 一生懸命に戦ってます



勝ったら元気よくジャンプするのがお約束の杉内志生(ボゴナ・クラブジム)は女子ユース灰帯ライトフェザーで優勝。母親譲りの腕十字を極めまくり、全試合一本勝ちで完全優勝を果たした。



緑帯になっても負けなしの快進撃を続けるレティシア・ヒラノ(EVOX BJJ)が女子ティーン緑帯ライトフェザーのワンマッチ決勝戦で高林倫(ボンサイ柔術)を腕十字で破って金メダル獲得。



はるばるオーストラリアから参戦のイヴ・ルプデ(AOJ)はギとノーギでプレティーン黄帯でWゴールド。キッズながら柔術をモチーフにした英語の教本も出しているちょっとした有名人だ。



プレティーン灰帯ライトフェザーで優勝した青木真之丞(CARPE DIEM MITA)は相手の動きに合わせてカウンターをタイミングよく決めるのがうまクニチャンぶりに拍車がかかっていた。



もう緑帯でも敵なし状態のエンゾ・ヤマザト(カーロストヨタBJJ)。誰が相手でも自分のスタイルを崩さず冷静な試合運びが目立った。今大会はティーン緑帯モデルの決勝戦で尾崎裕二郎(エスクード)に勝利して優勝。



ティーン橙帯ミッドムヘビー決勝戦はアメリカから来日したイーサン・アロンゾ(シウバBJJ)と地元・名古屋の宇野文人(SPLASH)の国際戦で、イーサンが逆転勝ちで優勝を飾っている。



CARPE DIEM KURUMEのエース的存在である緒方3姉妹。長女の愛梨はティーン黄帯ルースター、次女の朱里はプレティーン灰帯ミドル、三女の安莉はユース灰帯フェザーでそれぞれ優勝し、3人揃って金メダルを手に入れている。



長谷川悠(ボンサイ柔術)との実力者対決を制してティーン橙帯フェザーで優勝した岩澤新(CARPE DIEM MITA)。アグレッシブに極めにくいスタイルで動きまくって最後はフィニッシュしていく。



ティーン緑帯ミドル決勝戦で春日唯都(CARPE DIEM MITA)に競り勝って優勝した倉岡和也(ヤウェイ柔術アカデミー)。1回戦はラファエル・ユージ・ペレイラの弟、チアゴ・ペレイラにも勝利している。

# SJJIF WORLD TEAM RANKING

## 👑 チーム表彰・アダルト



**1位** Impacto BJJ

2位：カーロストヨタ BJJ  
3位：ボンサイ柔術

## 👑 チーム表彰・マスター



**1位** Impacto BJJ

2位：OVERLIMIT BJJ  
3位：EVOX BJJ

## 👑 チーム表彰・キッズ



**1位** Impacto BJJ

2位：DEFTAC SIX BLADES  
3位：カーロストヨタ BJJ

## 👑 チーム表彰・ノーギキッズ



**1位** EVOX BJJ

2位：ニュージーランドトップチーム  
3位：DEFTAC SIX BLADES

## 👑 ベストプロフェッサー・キッズ



**1位** ブルーノ・イシイ

2位：カーロス・トヨタ  
3位：ヘナート・シウバ

## 👑 ベストプロフェッサー・アダルト



**1位** ヨースキ・ストー

2位：カーロス・トヨタ  
3位：ヘナート・シウバ

## 👑 ワールドチームランキング・キッズ



**1位** Impacto BJJ

2位：DEFTAC SIX BLADES  
3位：EVOX BJJ

## 👑 ワールドチームランキング・アダルト



**1位** Impacto BJJ

2位：OVERLIMIT BJJ  
3位：カーロストヨタ BJJ



グラント・ボグダノフ  
Grant Bogdanove

ALMA FIGHT GYM LIFE  
アメリカ出身  
1994年11月1日生まれ  
178cm / 78kg

# GRANT BOGDANOV

グラント・ボグダノフ

SJJIF ワールドでギの階級別とノーギの階級 & 無差別で3つの金メダル=トリプルゴールドを達成したグラント・ボグダノフ。今大会では自身の念願であったチャンピオンベルトも獲得し、いま格闘技のキャリアのピークを迎えようとしている。そんなグラントに大会のこと、いままでのこと、そして今後の展望を聞いた。

—トリプルゴールド獲得おめでとうございます。ギの階級別とノーギの階級 & 無差別で3つの金メダ

— You won three gold medals at this tournament. What do you think about this great result?

I will turn thirty this year and as I have entered the latter half of my Adult Black Belt career I have found myself pondering what I want to get done before it's all over. Of course I was very happy to get the gold medals but I was really happy to get a championship belt. This is one of those things that I hadn't done yet but really wanted to do. Being that I'm not active in MMA anymore I thought it might not be possible. But when I found out that they were offering belts at SJJIF Worlds it motivated me to train and compete hard. It made my year

**GB**  
SJJIF  
WORLD  
2024  
CHAMPION

## ル獲得という素晴らしい結果についてどう思いますか？

私は今年で30歳になりますが、アダルト黒帯でのキャリアも後半に入り、これが終わるまでに何を成し遂げたいかを考えていました。3つの金メダルを取れたことはもちろん嬉しかったですが、ノーギの無差別で優勝してチャンピオンベルトを取れたことが本当に嬉しかったです。チャンピオンベルトの獲得はどうしてもやりたかったことのひとつでした。ベルトの獲得はもうMMAで試合をしていないから無理かもしれないと思っていたんです。でもSJJIFワールドでベルトがもらえることを知った時、ハードな練習と試合をする気になりました。その念願のベルトを手に入れて、チームのトロフィーやRIZINのグローブの隣にジムに飾れることは嬉しいですね。

## — 今大会はアジアで最大規模の大会となりました。そのことをどう感じていますか？

信じられないくらい規模でしたね。アジアは世界で最も人口の多い大陸であり、その競技者たちは適切な環境さえあれば、世界のトップと戦えることを知っています。大会を主催したSJJIFとASJJIFのエジソンさんは、アジアでこのスポーツを盛り上げるために本当に大きな動きをしています。このスポーツの成長と競技者の成功には、常に限界に挑戦する人たちが不可欠です。これからもっと大きく、もっと良くなっていくと思うとわくわくします。

## — この大会に出場しようと思ったきっかけは何でしたか？

日本で世界選手権が開催されると知ったとき、すぐに参加しようと思いました。僕は現役の選手だから大きな大会には出場していく。またジムの宣伝になる大きなタイトルも欲しかったしね。競技を引退した後は、ジムの運営が私の主な関心事になるので、その移行を助けるために、できる限りの下準備をしています。

## — ギのオープンクラスには出場しませんでした。それはなぜですか？

出場したかったのですが、日程の都合でノーギの階級別のために減量した後、ギのオープンクラ

s to get that belt and be able to put it in the gym next to our team trophies and my RIZIN gloves.

## — This was the biggest event in Asia. How do you feel about that?

It was incredible. Asia is the most populous continent in the world and I know its competitors can compete with the best in the world if they have the right environment. Edison and the SJJIF have really made a big move in boosting up the sport in Asia. People who consistently push the envelope are essential to the growth of the sport and the success of the competitors. It's exciting to know that it's only going to get bigger and better from here.

## — What made you decide to registered in this tournament?

When I found out that a world championship was going to be held in Japan I knew immediately that I was going to be there. I'm a competitor. I compete at the big tournaments. I also wanted the titles to help advertise the gym. After I retire from competing the gym will be my main concern so I am doing as much groundwork as possible to help with the transition when it comes.

## — You didn't compete in the Gi open class. Why was that?

I wanted to but the way everything was scheduled I would have had to have competed after cutting weight for my NoGi Weight class happening later that day. I thought there would be an injury risk and that it would be too much so I made the difficult?but in my opinion, right?decision to pull out. Next time I think the scheduling could be improved so people in my situation can compete more.

## — What was the most memorable match of this tournament? Also, please tell us about that match.

I had a great match with my QUINTET teammate and friend Shinji Morito in the NoGi Open class for the belt but I would say the most memorable match was the finals of my Gi weight class. My opponent Go Utsugi did very well in his first two matches and I had beaten him before but it was a difficult match. This time I came out aggressive and confident. I was feeling the energy of the crowd. My coach and former teammates from Kussano Team were there. I finished Go easily in just over a minute. I have been known as one of the best in Japan for some time but with this showing I proved that I am breaking through to the level of competitor that can compete and

僕は恵まれてるし、人生は素晴らしい

スに出場しなければなりません。それだと怪我のリスクもあるし、やりすぎだと思ったので、欠場という難しい決断をしたけれど、私としては正しい決断だと思ってます。次回は私のような境遇の人たちがもっと出場しやすいように、試合の日程の改善をお願いしたいですね。

### —今大会で最も印象に残った試合は何でしたか？

ノーギのオープンクラス決勝戦ではQUINTETのチームメイトであり、友人でもある森戸新士とベルトを賭けた素晴らしい試合ができました。ですが一番印象に残っている試合はギの決勝戦ですね。対戦相手の卯都木豪は決勝戦までの2試合でとてもいい試合をしていて、以前にも勝ったことがあったのですが、難しい試合でした。今回はアグレッシブで自信を持って臨んだし、観客のエネルギーも感じていました。私のコーチやサノチームの元チームメイトもそこにいてくれたのもよかったです。私は1分ほどでトーホールドを極めて勝つことができました。私は以前から日本でトップクラスの選手として知られていましたが、今回の成績で、インターナショナルレベルで戦い、勝つことができる位置にまで成長しつつあることを証明することができました。

### —今後、SJJIFとASJJFに期待することは？

SJJIFとASJJFの両団体が今後爆発的に成長し、世界の大きな団体と肩を並べるようになることを期待しています。

### —今後の目標は何ですか？

36歳までアダルト黒帯で戦うつもりです。私は26歳で黒帯を取ったから、黒帯で10年というのはちょうどいい数字だと思うんです。具体的な目標もありますが、全般的には試合に出て勝って、日本や海外でのコネクションを増やしていきたいです。選手としてのキャリアを活かして、次のステージへの窓口を一つでも多く開きたいと考えています。いま僕には妻と娘がいるし、ジムもあります。数年前、QUINTETのライブストリーミングを見るためにコンビニのフリー Wi-Fiを使っていた紫帯の頃を思い出します(苦笑)。その時代には現在の自分があるなんて、まったく夢にも思わなかったことです。僕は恵まれているし、人生は素晴らしいですね。

win at the international level.

### —What are your expectations for SJJIF and ASJJF in the future?

I expect both of the organizations to blow up and compete with the biggest organizations in the world in coming years.

### —What are your goals for the future?

I'm going to compete at Adult Black Belt until I'm 36. I got my Black Belt at 26 so it just seems like 10 years is a good number. I have some specific goals but in general I would like to compete and win and increase my connections in Japan and abroad. I would like to use my competitive career to open as many windows as I can for the next stage. I have my wife and daughter and the gym to take care of too. Life is great. I remember being a purple belt stealing wifi from a 711 to watch QUINTET years ago. I could not have in a million years dreamed of being where I am now. I am blessed and life is good.



グラントはノーギはアダルト黒帯ミドルとオープンクラスで優勝している。ミドル決勝戦はワンマッチ決勝戦で韓国人のキム・ジンウに勝利、オープンクラス決勝戦は森戸新士に2-0で勝利している。

Grant won the Adult Black Belt Middle and Open Class in No-Gi. He won the middle final against Korean Jin Woo Kim in final, and open class final against Shinji Morito, won by 2-0.



オープンクラスには出場せず階級別のミドル級にのみ出場したグラントのギありの試合では決勝戦で卯都木豪(CAVE BJJ)からトーホールドによる一本勝ちで優勝、ギとノーギで3つの金メダルを獲得した。

Grant did not compete in the open class but only in middleweight division, won his match with gi with won by toe hold from Go Utsugi in the final match, winning three gold medals in gi and No-Gi.

# MARIANAS OPEN

DATE: 2024年10月12日(土)

UOGカルポフィールドハウス

グアムで最も歴史があり、かつ最大規模で開催されているマリアナスオープン。今年はかつてないほどの豪華さでグアム以外からも強豪が集結し、賞金総額5万ドルを争った。

## 賞金1万ドル獲得のフェリッペ・アンドリューは 圧倒的な強さでマリアナス制覇



賞金1万ドルが懸かったアダルト黒帯オープンクラスの決勝戦はフェリッペアンドリュー (AOJ / PURE BRED GUAM)とシャビエルシウバ(EVOX BJJ)の対戦。体格で勝るフェリッペがプルガードしたシャビエルに対してパス&マウントから肩固めを極めてタップを奪い、金メダルと賞金を手にした。

The final match of the Adult Black Belt Open Class, with \$10,000 in prize money on the line, was between Felipe Andreu and Xavier Silva. Felipe took the tap against the pull guarded Xavier with a pass and mount to shoulder lock to win the gold medal and the prize money.



マスター1黒帯オープンクラスの優勝賞金は\$3000で、決勝戦は日本から参戦のマルロン・ゴドイ(ボンサイ柔術)と香港から遠征してきたホドリゴ・カポラル(ATOS)の顔合わせとなった。準決勝でDJジャクソンに勝っているマルロンはその勢いそのまま決勝でもカポラルから勝利してWゴールドと賞金獲得を果たした。

Master 1 Black Belt Open Class winner's purse was \$3000, and the final match was between Marlon Godoy from Japan and Rodrigo Caporal, who traveled from Hong Kong. Marlon, who defeated DJ Jackson in the semifinals, will continue his momentum with a victory over Caporal in the finals to win the W Gold and the prize money.



女子アダルト黒帯ライトフェザーはマスター1からカテゴリー変更してきたレノラ・マタナネ(Figo' / ボンサイ)とミレーナ・サクモト(ALMA FIGHT GYM HOMIES GIFU)のワンマッチ決勝戦。腰の不調がある中での試合となったミレーナだが、レノラからベリンボロでバックを奪うと送り襟絞めで一本勝ち。

Female Adult Black Belt Light Feather was a one match final between Lenora Matanane and Milena Sakumoto, who changed categories from Master 1. Milena, who had been suffering from a back problem, took the back from Lenora with a berimbolo and won by collar choke.





圧巻のパフォーマンスを見せたダニロ・ハマザキ (CARPE DIEM MITA) はアダルト黒帯ライトのワンマッチ決勝戦を腕十字で制するとオープンクラス初戦で巨漢のMMAファイター、ロッキー・マルチネス(RM GYM)と対戦し、10-0で完封勝利。だが試合中に怪我したため、2回戦を欠場している。

After an impressive performance, Danilo Hamazaki won the one match final of Adult Black Belt Light with an armbar, and in his first match in the open class, he faced the giant MMA fighter Roque Martinez and won a 10-0 decision. However, he was injured during the match and had to miss the second round.



男子と同じく女子アダルト黒帯オープンクラスの賞金も1万ドルで、決勝戦に勝ち上がったのはカロリーナ・クワハラに勝ったレティシア・カルドソ(AOJ / PUREBRED GUAM)とレノラ・マタナネに勝ったフェルナンダ・クリスト(EVOX BJJ)。試合は引き込んでスイープしたフェルナンダが2-0で勝利。

Like the men's class, the prize money for female adult black belt open class was \$10,000, and the winners of the finals were Leticia Cardoso, who defeated Carolina Kuwahara, and Fernanda Cristó, who defeated Lenora Matanane. Fernanda won the match 2-0 after putting in and sweep from guard.



アダルト黒帯フェザーの決勝戦には韓国から参戦していたチョ・ジュンヨンとユン・ミンホのWIRE BJJの2人が揃って勝ち上がったが、クローズアウトせずフレンドリーマッチを行った。時折笑顔を見せつつの試合には緊張感はなく、和やかなスパーリング的なものだった。

Adult Black Belt Feather finals were won by two WIRE BJJ competitors from Korea, Cho Jun Young and Yoon Min Ho, who both competed, but instead of a closeout, they had a friendly match with occasional smiles on their faces, was not tense, but rather a friendly sparring.



海外勢が猛威を振るっていたアダルト黒帯カテゴリーの中で唯一、アンソニー・クルーズ(カーウソングレイシイグアム)だけがメダル獲得。地元勢の熱烈な応援を背にアグレッシブに攻めていき、アダルト黒帯ミディアムヘビーで優勝を果たし、グアムのローカル出身者としてマリアナスオープン連続優勝記録を更新している。

Anthony Cruz was the only one to win a gold medal in the Adult Black Belt category, which was dominated by foreign competitors. With the enthusiastic support of the locals, he aggressively attacked and won Adult Black Belt Medium Heavy category, breaking the record for consecutive Marianas Open championships for a local from Guam.

# MARIANAS OPEN



マスター 1 黒帯ミドルとオープンクラスに出場したトーマス・ミッツ (CARPE DIEM JIUJGAOKA) だが、優勝ならず。階級&無差別ともホドリゴ・カポラルに敗れた。階級では決勝戦のサドンデスで敗退し準優勝、オープンクラスでは準決勝で一本負けて3位に終わる。

Thomas Mitz competed in the Master 1 Black Belt Middle and Open classes, but unfortunately did not win the gold medal. He was defeated by Rodrigo Caporal in both the middle and open classes. In 2nd place, he lost in sudden death in the final match to finish as runner-up, and in the open class, he lost by submission in semi finals to finish in third place.



往年のトップ選手でタイ・プーケットでのインストラクター生活を終えて現在はグアム在住のDJジャクソンがマリアナス初参戦。持ち前の安定したトップゲームを展開し、危なげなくアダルト黒帯ミドルで優勝。ちなみにオープンクラスはマスター 1 に出場して準優勝だった。

DJ Jackson, a top competitor of yesteryear who now resides in Guam after spending time as an instructor in Phuket, Thailand, competed in his first Marianas tournament. He developed his signature steady top game and won Adult Black Belt Middle without a hitch. Incidentally, he was 2nd place in the Open Class in Master 1.



マリアナスプロジャパンのマスター 1 茶帯オープンクラスで優勝のルーカス・ヒロサワ(INFIGHT JAPAN)は大会後に黒帯に昇格し、今大会が黒帯デビュー戦。階級別は1人優勝でオープンクラスのための試合となり、ここでいきなりDJジャクソンとの対戦となったが、トップから潰けられて完敗。

Lucas Hirose who won Master 1 brown belt open class at Marianas Pro Japan and earned his travel pack, was promoted to black belt after the tournament, and this was his debut black belt match. He won one rank and competed only in the open class, and here he suddenly found himself facing DJ Jackson, who soaked him from the top and defeated him completely.



今大会ではレフリーを兼ねて参戦のヨースキ・ストー (Impacto BJJ) は今夏に負った肘の負傷が完治していないため、無難にマスター 3 黒帯に出場してWゴールド。階級はワンマッチ決勝戦、オープンクラスは2試合に勝利して2つの金メダルを獲得したが、賞金がないことに不満顔だった。

Yoski Suto, who also competed as a referee at this year's tournament, competed as a safe W Gold with a Master 3 black belt, as his elbow injury sustained this summer has not fully healed. He won one match final in his class and two matches in the open class to earn two gold medals, but he was not happy with the lack of prize money.



今大会から会場演出が大幅にグレードアップ。巨大LEDが設置されてオープニングビデオが流されたり、開会式では参加国のフラッグを持った代表が行進、国歌斉唱も行われた。そして賞金のかかったオープンクラスの試合前には入場演出もあってプロマッチのような雰囲気の中で行われていた。また大会翌日にはアワードセレモニーも開催され、選手たちはドレスアップして表彰式に参加している。

The staging of the event was greatly upgraded from this year's event. Giant LEDs were set up to play the opening video, and at the opening ceremony, representatives of the participating countries marched with their flags and sang their national anthems. Before the Open Class matches, where prize money was at stake, there was an entrance performance that created an atmosphere similar to a professional match. An awards ceremony was also held the day after the tournament, and the players dressed up to participate in the awards ceremony.

## 中島琉輝がアダルト青帯の フェザー&オープンプラスで Wゴールド 全試合一本勝ちでの完全制覇で 賞金\$1000を手にした

今大会のMVPといってもいい中島琉輝 (AXIS) はまだジュブナイルの年齢だが賞金狙いでアダルトに出場し、フェザーとオープンプラスの全7試合を一本勝ちしてWゴールド獲得で賞金\$1000もゲット、これからさらなる飛躍は間違いないだろう。

Ryuki Nakajima (AXIS), who can be called the MVP of this year's tournament, is still a juvenile, but he competed in Adult event for the prize money, and won all seven bouts in the Feather and Open classes won by subs to win W Gold and \$1000 prize money. He is sure to make further progress in the future.



SJJJIFワールド王者の斉藤晶 (INFIIGHT JAPAN) はグアムでも危なげなくアダルト茶帯ライトで優勝。続くオープンプラスではかのブランドン・ヴェラと対戦し、接戦の末に敗れるも好勝負を展開した。

SJJJIF World Champion Sho Saito (INFIIGHT JAPAN) had no problems in Guam, winning Adult Brown Belt Lightweight division. In the Open Class, he faced Brandon Vera and lost in a close match.



アダルト青帯ルーサーで優勝したリカルド・ミヤサト (INFIIGHT JAPAN) は決勝戦を腕十字で一本勝ち。軽量級らしく動きの止まらない柔術が持ち味で、ベリンボも難なくこなす若手のホープだ。

Ricardo Miyasato (INFIIGHT JAPAN), the winner of the Adult Blue Belt Rooster, won the final match won by armbar. He is a young hope with never stops moving, and he can also do berimbolo with ease.



グスタボ・ナカハラ (カーロストヨタBJJ) は長身の長い手足を活かしたガードワークを得意としており、得意パターンへの引き込んでからのスイープ・パス・極めのコンビネーションを駆使してアダルト青帯ミドルで優勝。

Gustavo Nakahara (Carlos Toyota BJJ), who excels in guard work using his tall, long limbs, won Adult Blue Belt Middle with a combination of sweeps, passes, and subs after pulling in his signature pattern.



本来はライトフェザーなのだが対戦相手不在でフェザーに階級アップして出場した柴田紗希(パラエストラ天満)。SJJIFワールドで敗れた吉永愛とのワンマッチ決勝戦に挑み、ラペラを使ったサンパウロパスを決めて勝利、リベンジ&優勝を果たす。

Saki Shibata (Paraestra Tenma), who originally competed as a light feather competitor but moved up to feather due to the absence of an opponent, challenged Ai Yoshinaga, whom she lost to at the SJJIF Worlds, to a one match final and won with a San Paulo pass using a lapella to gain revenge and the win.



昨年も優勝しているハフェアラ・アユミ(INFIGHT JAPAN)が連続挑戦したが、階級別はワンマッチ決勝戦で優勝もオープングラスではまさかの初戦敗退に終わる。アユミに勝ったのはまだ黄帯の14歳、ティアナで15歳のアユミはさらに若いティアナに敗れるという波乱だった。

Rafaeta Ayumi (INFIGHT JAPAN), who also won last year, participated in the tournament for the second year in a row, but while she won the one match final in her weight class, she unexpectedly lost her first match in the open class. Ayumi was beaten by Tana, a 14-year-old yellow belt, and the 15-year-old Ayumi lost to even Tana.



## 昨年は賞金獲得者続出も今年は苦戦

### 上田真央はあと一歩のところ 賞金を逃す

これまでの実績から優勝候補筆頭と思われていたカウアン・タニノ(福住柔術)だが、万全を期してオープングラスにのみの出場もまさかの初戦敗退に終わる。試合中に膝を怪我してしまい、思ったような動きができなかったようだ。

Kauan Tanino (Fukuzumi Jiu Jitsu), who was thought to be the leading contender for the championship based on his past performance, unexpectedly lost his first match despite competing only in the open class to make sure he was in good shape. He injured his knee during the match and was unable to move as well as he would have liked.



SJJIFワールドでも優勝している上田真央(吹田柔術)は階級別で勝利しているティアナに女子アダルト青帯オープングラス決勝戦で敗れて賞金獲得ならず。だが大会後に紫帯に昇格し、これからは新たなステージでの戦いとなる。

Mao Ueda (Suita Jiu-Jitsu), who also won at the SJJIF Worlds, lost in female adult blue belt open class final to Tana, who had won her weight class, and did not win the prize money. However, she was promoted to purple belt after the tournament and will now compete in a new stage of competition.



吉永愛(パラエストラ岐阜)は階級別の試合で膝を負傷し、オープングラス出場が危ぶまれたががっちりテーピングをして出場もバスタードされて敗れる。国内ではトップ紫帯だけに万全の状態での再チャレンジの機会を待ちたい。

Ai Yoshinaga suffered a knee injury in a classified match, and although her participation in the open class was in doubt, she was able to participate after taping her knee firmly, but was passed guard and lost. She is a top purple belt in Japan, and will be looking forward to another chance to try her hand again when she is fully fit.



かつてはUFC～ONEで活躍していたMMAのトップ選手であるブランドン・ヴェラが突如参戦。階級別にはマスター 1で出場し優勝、オープンクラスは賞金狙いでアダルトで出場したが、決勝戦で肋骨を負傷し準優勝となってしまった。

Brandon Vera, a top MMA fighter who used to be active in the UFC - ONE, suddenly entered the tournament. He competed in the Master 1 class and won, and in the Open class he competed in the Adult class for the prize money, but injured his ribs in the finals and finished as the runner-up.



グアムのトップ女子であるフランセスカ・リザマ(PUREBRED GUAM)は昨年は紫帯で優勝し、今年は茶帯でも優勝。日本のヘナータ、韓国のパク・ソヨン(OVERLIMIT BJJ KOREA)を破っての優勝にグアム勢からの歓声が上がっていた。

Francisca Lizama (PUREBRED GUAM), Guam's top female competitor, won last year as a purple belt and this year as a brown belt. There were cheers from the Guam crowd for her victory over Japan's Renata and Korea's Park Soyoung (OVERLIMIT BJJ KOREA).



昨年は紫帯で準優勝のヘナータ・ハルミ(INFIGHT JAPAN)は今年も茶帯として連続出場。階級別には試合なしの1人優勝でオープンクラスでのみの試合だったが、3人巴戦で2連敗で3位入賞の負けメダルとなった。

Renata Harumi (INFIGHT JAPAN), a runner-up last year as a purple belt, competed consecutively this year as a brown belt. There were no matches in weight class due to the absence of opponents, only in the open class, but resulted in two consecutive losses and a losing medal for the third place finisher.



RIZINにも出場経験がある森井翼(フリー)はアダルト青帯オープンクラスで3位入賞。接戦に次ぐ接戦の中、ギリギリで勝ち上がったが準決勝戦で力尽きた。だがこの3位入賞は素晴らしい結果だろう。

Tsubasa Morii (free), who has also former RIZIN fighter, placed 3rd in Adult Blue Belt Open Class. In a close match after close match, he came within inches of winning, but ran out of energy in the semifinal match. However, this 3rd place finish is a great result.



熊田堅信 (AXIS)はアダルト紫帯ライトで優勝&オープンクラス準優勝。あと一歩のところまで賞金獲得を逃したが、この2つのメダル獲得は大いに誇っていいだろう。まだ若いだけに今後の活躍に期待したい。

Kenshin Kumada (AXIS) won Adult Purple Belt Light and was runner-up in the Open Class. Although he missed the prize money by one step, he should be very proud of these two medals. He is still young, so we look forward to his future success.



単身日本から参戦の堤健太郎(トライフォース)はアダルト青帯フェザーで3位入賞の銅メダル獲得。堤はトライフォースの五反田に所属しており、国内大会でも数々の実績を残している。

Kenro Tsutsumi (Tri Force), competing alone from Japan, won a bronze medal in Adult Blue Belt Feather division, placing 3rd. A member of Tri Force Gotanda, Tsutsumi has a long list of accomplishments at national tournaments.



ブルーノ・イシイが引率した Impacto BJJ のキッズチームは今大会に6人を出場し、その全員が優勝するという好成績を残した。海外大会でもこのような快挙を成し遂げている Impacto BJJ のキッズチームは国内トップクラスのキッズチームといっている。

Impacto BJJ kids team led by Bruno Ishii competed in this year's tournament with six members, all of whom won. With such success at international tournaments, Impacto BJJ's kids team is one of the best kids teams in Japan.

## ブルーノ・イシイ率いる Impacto BJJ のキッズチームが快挙 6人が参戦し全員が金メダル獲得という大活躍



カーロストヨタBJJからキッズカテゴリーに唯一出場のエンゾ・ヤマザトもティーン緑帯ライトで優勝。三角絞めから腕十字でタップを奪っている。

Enzo Yamazato is only competitor in the kids category from Carlos Toyota BJJ, also won in Teen Green Belt Light. He won by tapping out with a triangle choke followed by armbar.



ジュニアティーン黄帯ミディアムヘビーで優勝した加納世柵は国内外の大会で連戦連勝の無敗記録を更新中の快進撃だ。

The winner of the Junior Teen Yellow Belt Medium Heavy, Sena Kano, is on a fast track to an undefeated record with back-to-back wins in domestic and international competitions.



田代丈はジュブナイル青帯ライトで優勝。SJJJIFルールは橙帯や緑帯でも青帯カテゴリーに出場できる。

Takeshi Tashiro won Juvenile Blue Belt Light; SJJJIF rules allow orange and green belts to compete in the blue belt category.



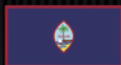
女子のイザベラ・カドグチは女子ジュニアティーン灰帯ライトのワンマッチ決勝戦で勝利しての優勝で、腕十字で極めている。

Isabella Kadoguchi won female Junior Teen gray belt light one match final and locked in the armbar for the win.



雷流と李風の渡部兄弟は2人揃ってマリアナス優勝。まだ白帯だが、色帯になっても活躍していくことだろう。

The Watanabe brothers, Rairu and Rihuu, both won the Marianas championship. They are still white belts, but will be active even as colored belts.



2025

# COPA DE MARIANAS

THE ROAD TO JAPAN

**JAN. 25**  
UOG CALVO FIELDHOUSE



**GI / NO GI**  
TOURNAMENT

今号でレポートしているようにグアムで開催された「マリアナスオープン」は過去最大規模で行われ大成功に終わった。そんな中、早くもマリアナスシリーズの次回大会の開催が決まっているのでお知らせする。マリアナスシリーズの2025シーズンの幕開けとなるのが、2025年1/25にグアムで開催される「コパ・デ・マリアナス」だ。グアムでは年明けに「コパ」が開催され、秋に「オープン」の年2回の開催が定例化しているのは周知の通り。賞金トーナメントの「オープン」に対し、「コパ」ではグアムから日本へのトラベルバックが贈呈されるため、グアムのローカルの選手に人気の大会となっている。昨年

のコパでもトラベルバックは贈呈されており、3月に日本で開催された「マリアナスプロ」にグアムからの参加者が多数おり、インターナショナルトーナメントとして大いに盛り上がっている。来年のコパでもグア

ムのローカルの選手を中心に日本行きのトラベルバック争奪戦が激化すると思われ、今から楽しみだ。また来シーズンのマリアナスプロシリーズのスケジュールも決定済みなので併せてチェックして欲しい。

## マリアナスシリーズ 2025・シーズンスケジュール

### 「コパデマリアナス」

2025年1月25日  
グアム・フィールドハウス

### 「マリアナスプロジャパン東京」

2025年2月8日  
駒沢オリンピック公園体育館

### 「マリアナスプロジャパン名古屋」

2025年3月8日  
愛知県武道館

### 「マリアナスプロフィリピン」

2025年4月開催予定

### 「マリアナスプロコリア」

2025年6月開催予定

### 「マリアナスプロ台湾」

2025年7月開催予定



20



フェルナンダ・クリスト  
Fernanda Cristo

EVOX BJJ  
2001年10月1日生まれ  
175cm 71kg  
ブラジル・サンパウロ出身

# FERNANDA CRISTO

フェルナンダ・クリスト

9月に名古屋で開催された「SJJIFワールド」と10月にグアムで開催された「マリアナスオープン」の2つのビッグトーナメントを制し、国内最強の女子柔術家となったフェルナンダ・クリスト。現在はアメリカ・コロラドに拠点を移し、世界を舞台にまだまだ活躍が期待できるトップ選手の一人だ。

**FC**  
SJJIF  
WORLD  
2024  
MARIANAS  
OPEN  
CHAMPION

—階級&無差別級+ギ&ノーギの優勝でクアドラプル・ゴールドです。おめでとうございます。

ありがとうございます。本当に嬉しいです。SJJIFのワールドは初めて出たのですが、ノーギもあんまり

—Quadruple Gold for winning weight class & open class, gi & no gi. Congratulations.

Thank you very much. I'm really happy, this is my first time at SJJIF Worlds, and I haven't competed much in No-Gi either, but I decided I



試合してなくて、でも両方とも試合したいと決めていたので勝てて本当に嬉しいです。

— SJJIFワールドの2週間後にはグアムで開催されたマリアナスオープンでも優勝しました。マリアナスオープンは昨年に続いて2年連続優勝です。

そうですね。今年のマリアナスオープンは本当に凄かったですね。決勝戦の前には特別な演出があったり、賞金が高くなったり、そして大会翌日の授賞式も素晴らしかったです。

— 賞金が懸かっていたオープンクラス決勝戦はレティシア・カルドソとの試合でした。レティシアはこれまで数多くの大会で優勝しているワールドチャンピオンです。どのような試合でしたか？

レティシアはとても強い選手だと知っていたので試合前に戦略を立てて挑みました。私がガードに引き込んで、しっかりと防御しながらチャンスがあったらスイープしていく作戦でした。そしてそれがうまくいき、スイープで2ポイントを取ってからは攻められないように手堅く進め、2-0で勝ちました。

— この優勝で昨年に引き続き2年連続の優勝となりました。来年のマリアナスオープンにも参戦しますか？

もちろんです。来年も出て3年連続優勝を狙います。

— 優勝賞金の1万ドルはどのように使いますか？



SJJIFワールドでは本人曰く「あまり試合していない」というノーギにも出場したが危なげない試合運びでWゴールド獲得。

At the SJJIF World Championships, he competed in no-gi, which he says he "didn't play much," but his solid performance earned him the W gold medal.

wanted to compete in both, so I'm really happy to win.

— Two weeks after the SJJIF Worlds, you also won Marianas Open in Guam for the second year in a row, following last year.

That's right. This year's Marianas Open was really great. There were special performances before the finals, the prize money was higher, and the awards ceremony the day after the tournament was wonderful.

— In Open Class final, where the prize money was on the line, was against Leticia Cardozo. Leticia is a world champion who has won many tournaments. What was the match like?

I knew Leticia was a very strong player, so I planned my strategy before the match. My strategy was to pull her into my guard, defend myself well, and sweep her when I had the chance. It worked out well, and after getting two points with a sweep, I was able to keep my opponent from attacking me and won the match 2-0.

— With this win, I won the championship for the second year in a row. Will you compete in next year's Marianas Open?

Of course I will. I will compete again next year and try to win for the third year in a row.

— How will you spend the \$10,000 prize money?

I will use the prize money to travel to Jiu Jitsu tournaments. I would like to continue to participate in many more competitions and raise my level of jiu jitsu.

— Lately I've been in the U.S. all the time, where are you in the U.S.?



ノーギに続きギアでもミディアムヘビー & オープンクラスで優勝して余裕の2階級制覇達成。

Following the No-Gi, she also won the medium heavy and open classes with gi, achieving a two divisions champion with plenty of time to spare.

これからもアメリカを拠点にして、よりハイレベルなアスリートになりたい



この賞金は柔術の大会の遠征費に使います。これからたくさんの方に大会に出て自分の柔術レベルを上げていきたいですね。

—最近はずっとアメリカにいるんですけど、アメリカではどこにいますか？

今はコロラド州のデンバーにいます。私のボーイフレンドのジムで「NEW LEVEL」っていう新しいジムです。今は日本とデンバーを行き来している感じですね。でもメインはアメリカにいるので、アメリカの各地で行われている大会にたくさん出ています。そして日本で大きな大会があるときはこっちに戻ってきて日本でも試合をする感じです。今はアスリートのビザを取得しているので、アメリカに長い間いても大丈夫なんです。

—ではいまはもうアメリカが拠点なんですか？

そうです。完全にアメリカに引っ越して、アメリカに住んでいます。アメリカでの練習スケジュールは柔術は1日に2回やって、筋トレは週に3回やっています。もう柔術だけの生活になっていて、指導はキッズクラスで教えていますよ。

—アメリカと日本で柔術に違いはありますか？

アメリカのほうがもっとプロ的というか、アスリートの練習になっていると感じます。日本はアスリートもいるけど、柔術以外の仕事をしている社会人の方もいるので、そういうところが違うと思います。これからもアメリカを拠点にして、よりハイレベルなアスリートになりたいと思っています。

I live in Denver, Colorado right now. It's a new gym called "NEW LEVEL" at my boyfriend's gym. I'm kind of going back and forth between Japan and Denver. I mainly stay in the U.S. and compete in a lot of tournaments, and when there are big tournaments in Japan, I come back and compete in Japan as well. I have an athlete's visa now, so I can stay in the US for a long time.

— So you are already based in the U.S.?

Yes, I am. I moved to the U.S. and live in the U.S. I practice in the U.S. I do jiu jitsu training twice a day and weight training three times a week. I'm already living only jiu jitsu, and I also teach kids' classes.

— What are the differences between Jiu Jitsu in the U.S. and Japan?

In the U.S., the practice is more professional or athletic, and in Japan, there are athletes, but there are also working people, so I think that's the difference. I would like to continue to be based in the U.S. and become a higher level athlete.



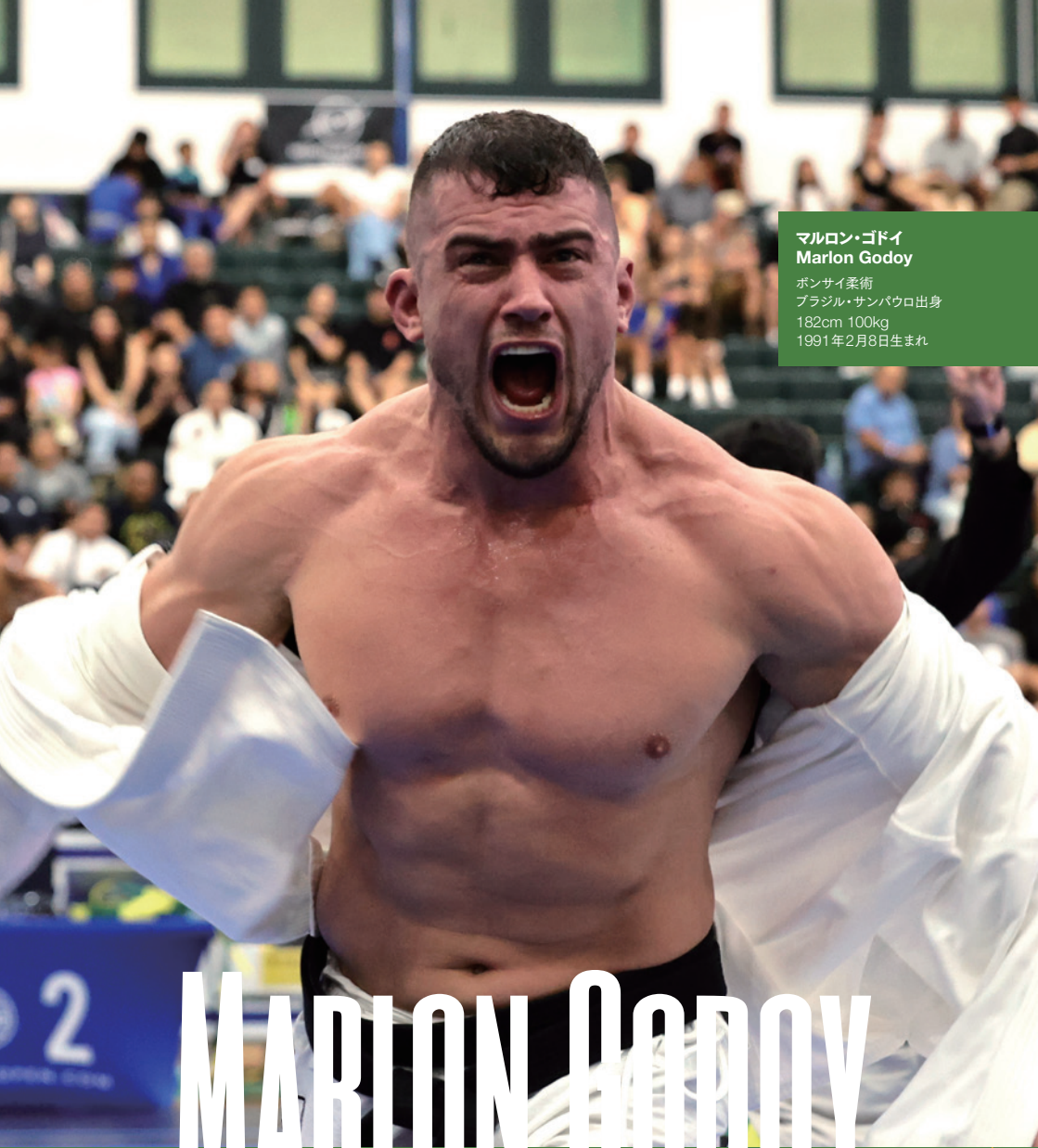
マリアナスオープンではアダルト黒帯オープンクラスで強豪のレティシア・カルドソと対戦し、スイープの2ポイントを守り切って勝利、2年連続優勝を果たした。

At the Marianas Open, she faced the strong Leticia Cardozo in Female Adult Black Belt Open Class final and won by defending two points of the sweep, winning for the second year in a row.



SJJIFワールドでギ&ノーギでWゴールド×2＝クアドラブル・ゴールド獲得の偉業を成し遂げたフェルナンダ。日本における最強の女子柔術家とっていい活躍ぶりだ。

Fernanda won 2 x W Gold in Gi & No-Gi = Quadruple Gold at the SJJIF Worlds. She is the strongest female Jiu Jitsu competitor in Japan.



マルロン・ゴドイ  
Marlon Godoy

ボンサイ柔術  
ブラジル・サンパウロ出身  
182cm 100kg  
1991年2月8日生まれ

# MARLON GODOY

マルロン・ゴドイ

いまやボンサイ柔術ファミリーの新たなエースと目され活躍ぶりのマルロンは、ボンサイファミリーの紅一点であるクリスチアーニ・ユカリ・ソウザの旦那さん。ブラジル人ながら家族とともに日本に移住し、国内外の柔術シーンで猛威を振るっている。そんなマルロンに大会優勝後にインタビューを試みた。

**MG**  
SJJIF  
WORLD  
2024  
MARIANAS  
OPEN  
CHAMPION

— マリアナスオープン優勝、おめでとうございます。

ありがとうございます。賞金をもらえてすごく嬉しいよ。

— 今大会には急遽出場が決まりましたね。

そうなんだ。2週間前に出たSJJIFワールドのアドルト黒帯オープンクラスで優勝してグアムに来るトラベルパックを獲得したんだ。このグアムには家族も一緒に連れて来れたし、いいバケーションになったね。

— グアムでは大会以外で何をして楽しみましたか？

もちろんビーチも行ったし、買い物もしたし、グアムにあるボンサイ柔術のアフィリエイトジムのFigo' / BONSAIでセミナーもやったよ。短い滞在だったけどグアムを存分に満喫したよ。また来たいね。

— 今回のマリアナスオープンは過去最大規模での開催で、賞金も高額になりました。

そうらしいね。グアムの人口は18万人ほどで、東京の1400万人に比べると、すごく少なく感じるよね。それなのに東京での大会と遜色ないほどの人数である800人も参加者がおり、またグアムに世界中からビッグネームの参加があったのは驚くべきことだよ。オープンクラスの決勝戦で戦ったホドリゴ・カポラルはワールドマスターで優勝している世界王者で、今回は香港からの参戦だった。ア

— Congratulations on winning the Marianas Open.

Thank you. I'm very happy to get the prize money.

— You decided to compete this tournament on short notice, didn't you?

Yes, I won the SJJIF World Adult Black Belt Open Class two weeks ago and won a travel package to Guam. I was able to bring my family with me to Guam, so it was a great vacation.

— What did you do for fun in Guam besides competing?

Of course I went to the beach, did some shopping, and did a seminar at Figo' / Bonsai, an affiliate gym of Bonsai Jiu Jitsu in Guam. It was a short stay, but I enjoyed Guam to the fullest. I can't wait to come back.

— Marianas Open was the largest ever held, and the prize money was huge.

Yes, it was. The population of Guam is about 180,000, which seems very small compared to Tokyo's 14 million. And yet there were 800 competitors, a number comparable to that of Tokyo, and it was amazing to see big names from all over the world participating on Guam. My finalist, Rodrigo Caporal, is the World Champion of the World Master, and he was from Hong Kong this time. I am also from Japan, and Marianas Open is the biggest international tournament in Guam, and it is definitely a high level tournament.

— You are Brazilian, but you live in Japan now, right?

マリアナスオープンは  
グアム最大の国際大会であり、  
最もハイレベルな  
トーナメントなのは間違いない



SJJIFワールドのアドルト黒帯オープンクラスで優勝しマリアナスオープン出場のトラベルパックを獲得したマルロン・ゴドイ。今大会には日本からの刺客としてグアムに乗り込んでいる。

Marlon Godoy won the Adult Black Belt Open Class at the SJJIF Worlds and earned a travel pack to compete in the Marianas Open. He is traveling to Guam for this tournament as an assassin from Japan.



マスター1黒帯オープンクラス準決勝ではワールドクラスの強豪として知られるDJジャクソンをサドンデスでテイクダウンして撃破。ちなみにDJは現在グアム在住で、久しぶりの試合出場だった。

In the Master 1 black belt open class semifinals, he defeated DJ Jackson, known as a world class powerhouse, by takedown in sudden death. Incidentally, DJ currently resides in Guam and had not competed in a match for a long time.

ダルト黒帯オープンクラスで優勝したフェリッペ・アンドリューはコスタメサから来てるし、私も日本から来ている。これだけの選手が揃うマリアナスオープン はグアム最大の国際大会であり、最もハイレベルな トーナメントなのは間違いないね。

—あなたはブラジル人ですが、いま日本在住なん ですね。

そうなんだ。日本には2024年の2月に来て、静岡 県の磐田市に家族と一緒に移住したんだ。いまは 磐田にあるボンサイ柔術でインストラクターをしな がら練習して大会にも出ているよ。やはりブラジルよ り日本の方が安全だし住みやすいから、移住はよ かったと思っている。ブラジルに戻ることもあるかも しないけど、当分の間は日本にいます。

—いまボンサイ柔術はMMAで活躍中の選手が 多いです。あなたもMMAで戦うことを考えていま すか？

うーん、いますぐにすることはないけど、いつかは MMAでも試合してみたいと考えてはいるよ。ボンサイ 柔術にはチャンピオンのサトシ・ソウザや元チャン ピオンのクレベル・コイケもいるし、マルコス・ソウザ やヒロ・ヤマニハもいて、みんな一緒に練習している からね。実はもうMMAの練習もしているんだ。

—ではMMA転向も近いのではないですか？

まあ時期が来たら、だね。MMAで戦うにはまだ 練習をたくさんしなければならぬし、いまはチーム メイトの試合がたくさんあるから、そのサポートもして いきたいですね。



決勝戦ではホドリゴ・カポラルを8-0で破って優勝、賞金\$3000を獲得。実績・知名度で勝るDJとカポラルに勝利したことでマルロンも今後は強豪として知られていくことだろう。

He defeated Rodrigo Caporal 8-0 for the win and \$3000 prize money in finals. With his victory over DJ and Caporal, who have a better track record and name recognition, Marlon will be known as a strong competitor in the future.



気になる賞金\$3000の使い道はというと「すでに買い物で使ってしまったよ!」とのこと。大会後は家族と一緒に買い物と観光でグアムを満喫、短い滞在だったが大いに楽しんだようだ。

As for how he spent his \$3000 prize money, he said, "I've already spent it on shopping! After the tournament, he enjoyed Guam with his family for shopping and sightseeing.

Yes, I am. I came to Japan in February 2024 and moved with my family to Iwata City, Shizuoka Prefecture. Now I train and compete as an instructor at Bonsai Jiu Jitsu in Iwata. I think it was a good decision to move to Japan because it is safer and easier to live there than in Brazil. I may go back to Brazil, but for the time being I will stay in Japan.

—There are many Bonsai Jiu Jitsu fighters who are active in MMA now. Are you thinking about fighting in MMA too?

Well, not immediately, but I would like to fight in MMA someday. Bonsai Jiu Jitsu has a champion, Satoshi Souza, and a former champion, Kleber Koike, as well as Marcos Souza and Hiro Yamaniha, who all train together. In fact, I'm already practicing MMA.

—So you are close to switching to MMA?

Well, when the time is right...I still have to train a lot to fight in MMA, and I have a lot of teammates' fights right now, so I want to support them as well.



グアムにはボンサイ柔術のアフィリエイトジムのFigo / BONSAI があり、短い滞在期間の間にセミナーも行ったマルロン。早くも来年のマリアナスオープン出場にも意欲的で、連続参戦を期待したい。

Guam is home to Figo / BONSAI, an affiliate gym of Bonsai Jiu Jitsu, and Marlon also conducted seminars during his short stay. He is already eager to compete in next year's Marianas Open, and we look forward to seeing him compete in consecutive years.

**MG**  
SJJIF  
WORLD  
2024  
MARIANAS  
OPEN  
CHAMPION

# ART

ASJFF ROLLING TOUR

PHILIPPINES

# 4

NOVEMBER 17, 2024  
SUNDAY - 2PM



強豪選手が多数参戦予定のプロ大会、PPV で日本からも視聴可能！

# ART PHILIPPINES 4



アジア王者のジェゴ・エンリケ(CARPE DIEM MITA)が今大会のメインイベントとなる予定。日本代表としてフィリピン人の強豪と対戦する。



白木アマゾンら日本から多数の選手が参戦し、フィリピンの選抜選手と対戦するARTフィリピン。日本でもPPVで視聴可能なので、ぜひ見て欲しいビッグイベントだ。



今大会の会場はセブ最大のナイトクラブ「FLEX」だ。クラブのフロアにマットを設置し、マットサイドはテーブル席での観戦となる。このテーブル席のVIPチケットは4万フィリピンペソ、日本円で10万円以上とのことだ。



女子の試合も多数マッチメイクされる予定で、日本からはアナベラとイザベラのウォーカー姉妹やニコリー・セキタニらが出場する。すでにアナベラの相手は決定済でミエレ・サムビルとの対戦となる。



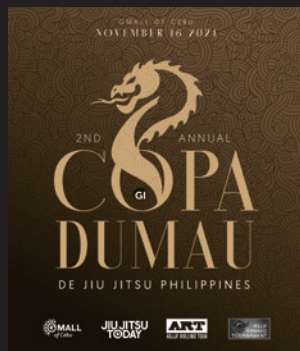
国内外で猛威を振るうカーロス・ヨタ、BJJのキッズチームも揃って参戦。セブでの試合ぶりに注目だ。

フィリピン・セブで開催されているプロ柔術「ARTフィリピン」は日本で開催されていた「ART」のフィリピン版として行われている。日本での「ART」は開催が休止中だが、「ARTフィリピン」は定期開催されており、次回で4回目の大会となる。その「ARTフィリピン.4」は題して「フィリピンvsワールド」と銘打っての開催で、フィリピン人の選手と世界各地から招聘された選手たちとの国際戦でマッチメイクされるという。日本

からはジェゴ・エンリケ、白木大輔、村田良蔵らのトップ黒帯たちの他に、色帯でもASJJFの選手ランキング上位のメンバーがずらりと顔を揃えている。さらに日本以外からも決まっているだけで韓国、中国、マレーシアなどの選手が参戦予定というから、まさに世界選抜といってい多国籍な選手たちが一同に介することになるだろう。今大会は現地観戦の他にオンラインPPVも実施予定とのことなので、ぜひリアルタイムで視聴して欲しい。

## 日本からの参戦予定選手

ジェゴ・エンリケ  
白木大輔  
ヨースキ・ストー  
渡部修斗  
村田良蔵  
江木伸成  
井田梨  
ホベルト・マツオ  
グスタボ・ツボネ  
井田徠  
ニコリー・セキタニ  
グスタボ・ナカハラ  
ルーカス・ナラザキ  
ジョアオ・コバヤシ  
クリスチャン・マツオ  
エンゾ・ヤマザト  
マイケ・オオシロ  
イザベラ・モモカ・ウォーカー  
アナベラ・リンカ・ウォーカー  
ヴィニシウス・ヒガ  
ダニエル・ヒガ  
フェリッペ・ネモト  
立石修也 ほか



「ARTフィリピン.4」の前日にはフィリピン版の「コバ・ドゥマウ」も開催される。こちらも盛り上がることは間違いないだろう。



# DUMAU

[www.dumauasia.com](http://www.dumauasia.com)





# JAPAN RANKING 2024

ASJJF ではポイント制による年間ランキングを設けており、  
成績優秀者には表彰や翌年度の大会の出場費免除などの特典が与えられます。

## 大会のグレードと獲得ポイント数



**A** SJJFならびにSJJJFが主催、または提携する大会にはランキングポイントが定められており、入賞者には大会の格付けに応じたポイントが与えられます(上図参照)。ポイントは一年を通じ、獲得するとともに積み重ねられ、ポイント数

によるランキングが制定されます。ランキングは各カテゴリーで設けられ(帯別、性別、年齢別)、成績優秀者<sup>※1</sup>は表彰、さらに各カテゴリーのランキング1位の選手には、2025年に日本国内で開催されるASJJF、SJJJF主催大会への参加費用が免除

される特典<sup>※2※3</sup>もありますので、皆様には奮って大会へご参加いただきたいと思います。

なお、当ランキングは2024年1月以降開催される大会から対象となりますので、お間違えないよう詳細はASJJFのHPでご確認ください。

※1:各カテゴリーには最低獲得ポイントが定められており、これを超えた選手のみ適用となります。 ※2:200ポイント以上を獲得したランキング1位の選手が対象。  
※3:アジアランキングで300ポイント以上を獲得した選手には参加費用免除に加え10万円が贈呈されます。

# ASJJF Upcoming Events 2024 November-2025 April



## 2ND ANNUAL COPA DUMA U DE JIU JITSU PHILIPPINE 2024

Gmall Of Cebu Atrium, Cebu Philippines

2024年11月16日(土)



## Art Philippine 4

Club Flex, Mandaue Philippines

2024年11月17日(日)



## THE KING OF THE ISLAND JIU JITSU CHAMPIONSHIP 2024

沖縄県 沖縄市武道場

2024年11月23日(土)



## KANTO OPEN JIU JITSU CHAMPIONSHIP 2024

東京都 Genスポーツパレス

2024年11月23日(土)、24日(日)



## MANILA OPEN JIU JITSU CHAMPIONSHIP 2024

Festival Mall Alabang, Manila Philippines

2024年11月30日(土)



## CENTRAL JAPAN OPEN JIU JITSU CHAMPIONSHIP 2024

愛知県 青山記念武道館

2024年12月14日(土)~15日(日)



## KYUSHU INTERNATIONAL OPEN JIU JITSU CHAMPIONSHIP 2024

佐賀県 基山町総合体育館

2024年12月15日(日)



## Jhood Devilock Master Cup 2024

千葉県 バルドラール浦安アリーナ

Urayasu Sougou Taikukan  
2024年12月21日(土)



**TOKUSHIMA OPEN  
JIU JITSU CHAMPIONSHIP 2024**  
徳島県 ソイジョイ武道館  
2024年12月22日(日)



**TAIWAN INTERNATIONAL OPEN  
JIU JITSU CHAMPIONSHIP 2025**  
Chinese Taipei  
2025年1月11日(土)、12日(日)



**TOKYO INTERNATIONAL WINTER  
JIU JITSU CHAMPIONSHIP 2025**  
東京都 墨田区総合体育館  
2025年1月19日(日)



**2025 Copa De Marianas**  
University Of Guam Calvo  
Fieldhouse, Guam  
2025年1月25日(土)



**ASEAN INTERNATIONAL  
JIU JITSU OPEN CHAMPIONSHIP 2025**  
Philippines  
2025年2月1日(土)



**MARIANAS PRO TOKYO**  
東京都  
駒沢オリンピック公園 体育館  
2025年2月8日(土)



**ASIA JIU JITSU CUP 2025**  
東京都 駒沢オリンピック公園 体育館  
2025年2月9日(日)



**2025 FLIPSPOrts JAPAN  
INTERNATIONAL JIU JITSU OPEN**  
愛知県 愛知県武道館  
2025年2月15日(土)



**XXII COPA DUMAUI DE  
JIU JITSU 2025**  
愛知県 愛知県武道館  
2025年2月16日(日)



**KANSAI INTERNATIONAL  
JIU JITSU CHAMPIONSHIP 2025**  
大阪府 吹田市立武道館  
2025年2月23日(日)



**MARIANAS PRO NAGOYA**  
愛知県 愛知県武道館  
2025年3月8日(土)



**ASIA KIDS JIU JITSU  
CHAMPIONSHIP 2025**  
愛知県 愛知県武道館  
2025年3月9日(日)



**ASIA MASTERS JIU JITSU  
CHAMPIONSHIP 2025**  
愛知県 愛知県武道館  
2025年3月9日(日)



**SHIKOKU JIU JITSU  
CHAMPIONSHIP 2025**  
徳島県 ソイジョイ武道館  
2025年3月16日(日)



**CHUGOKU JIU JITSU  
CHAMPIONSHIP 2025**  
山口県 岩国市総合体育館  
2025年3月30日(日)



**TOKYO INTERNATIONAL SPRING  
JIU JITSU CHAMPIONSHIP 2025**  
東京都 駒沢オリンピック公園 体育館  
2025年4月19日(土)、20日(日)

## 柔術プリーストではASJJFの大会動画を実況&解説付きで配信中!!



チャンネル登録はこちら



Jiu Jitsu NERDのYouTubeチャンネルで配信されている「柔術プリースト」ではASJJFの数ある試合動画の中から一本決着だった試合や好勝負だった試合を厳選して実況&解説付きで配信している。またそこで紹介している試合動画は見やすいようにダイジェスト編集が施されており、手軽に見ることができる。



# HEAT PRESS

PERSONALIZAÇÃO DE KIMONOS

## ヒートプレス

カスタマイズBJJGI

✉ [heatpressbjjgi@gmail.com](mailto:heatpressbjjgi@gmail.com)

📷 [HEATPRESSBJJ](https://www.instagram.com/HEATPRESSBJJ)





# KINGZ

チャンピオンも愛用するKINGZ



[www.kingz.jp](http://www.kingz.jp)

[@kingz.jp](https://www.instagram.com/kingz.jp)



# JIU JITSU TODAY

【発行】



Asian Sport Jiu-jitsu Federation